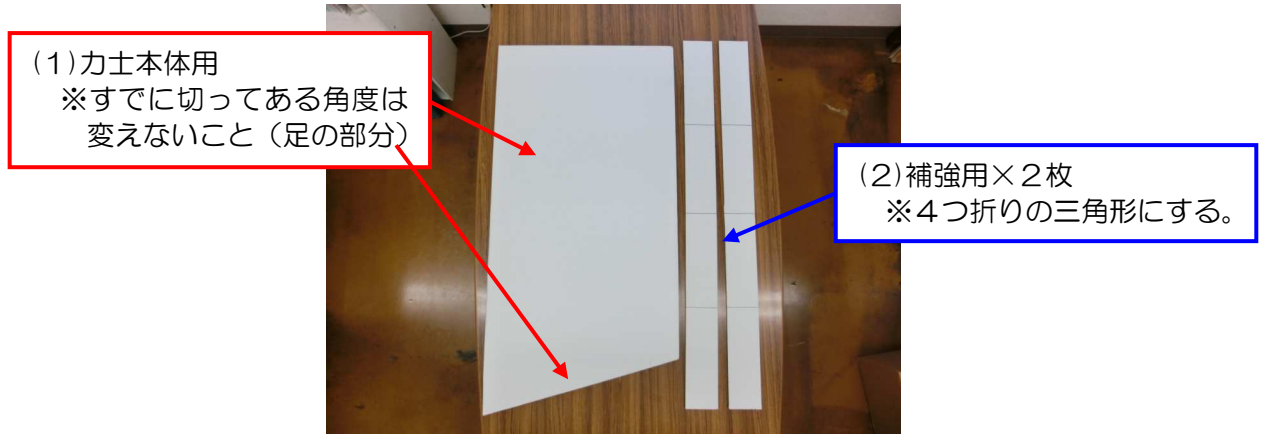


# ダンボール紙相撲力士の作り方

## 1 ダンボールを三朝町教育委員会に取りに行こう！

- ダンボールは三朝町教育委員会指定のものに限ります。
- ダンボールは三朝町教育委員会が無料で提供しますので、参加チームの代表者は、教育委員会に取りに来てください。
- お渡りするダンボールは次のとおりです。
  - (1) 力士本体用
  - (2) 補強用×2



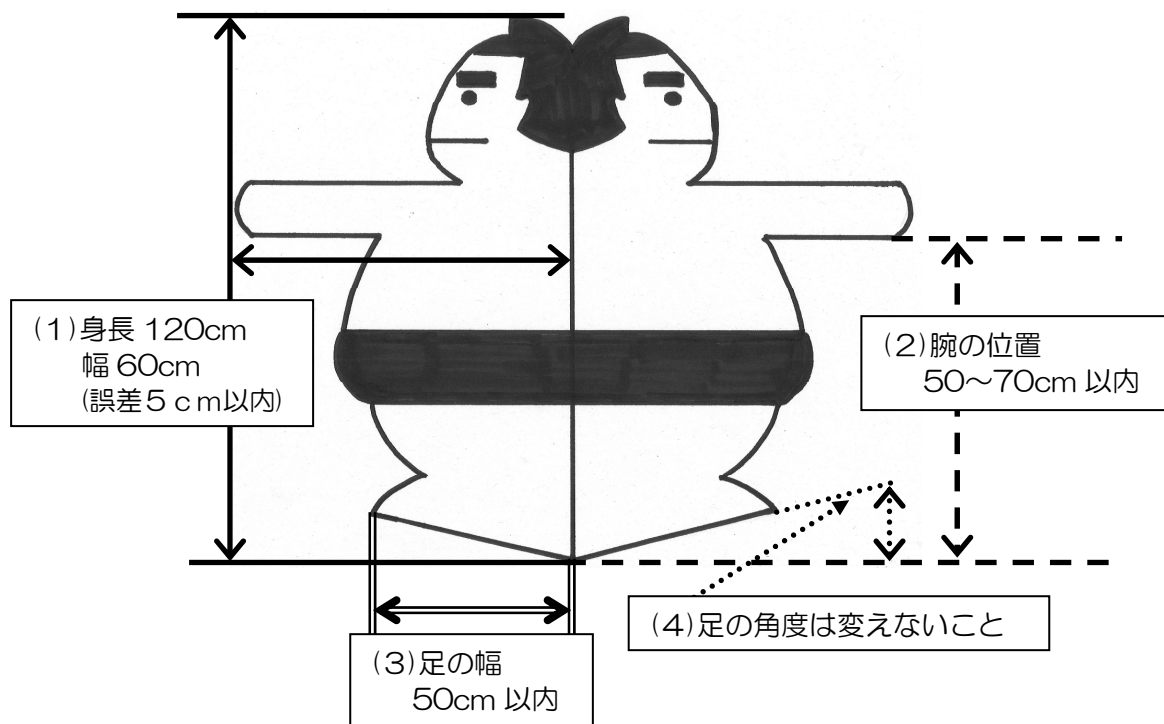
## 2 ダンボール力士を作ろう！

- 大会に参加するには以下の決まり（規定）を必ず守ってください（規定を満たしていない場合は失格となります）。
- **ダンボールを切ったり、補強ダンボールを取り付けるのは大人が行ってもよいこととします（もちろん、子どもだけで作ってもOK）。**
- **ただし、力士のデザイン（絵や色塗り）は子ども達で行ってください。**  
（多少の大人の補助は可とします）

### 【ダンボール力士の決まり（規定）】

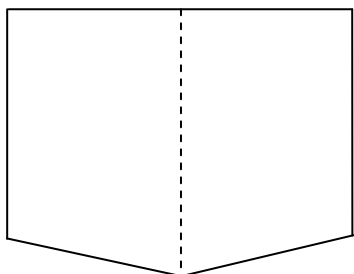
- (1) 力士の身長（力士の足の折り目から頭の上まで）は 120cm、幅（力士の背中から腕の先まで）は 60cm 以内とする（ともに誤差 5cm 以内）。
- (2) 腕の位置（高さ…力士の足の折り目から腕の下まで）は 50～70cm 以内とする。
- (3) 足の幅は **50cm 以内**とする。
- (4) 足の角度は変えないこと（配布したダンボールの角度を変えないこと）。
- (5) 力士が開いてしまわないように、補強ダンボール（三角形）を内側に2箇所取付けること（支給された補強ダンボール以外の素材は使用しないこと）。
- (6) 必ずしこ名（力士の名前）をつけること（例 三徳投入れ山）。
- (7) 必ず化粧（色塗り）をすること。
- (8) デザインは、何でもよいこととする（例：ロボット、怪獣、動物 など）。

【参考図：ダンボールカ士の決まり】

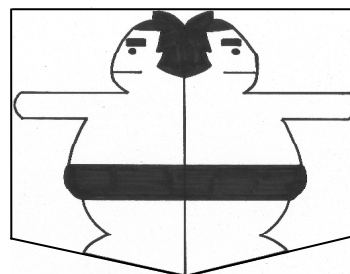


【参考図：ダンボールカ士づくりの流れ】

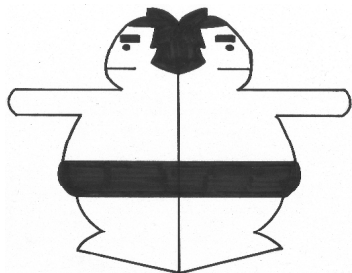
1 教育委員会から支給されたカ士本体用ダンボールを開く。



2 カ士本体用ダンボールに好きなカ士デザインを書く。



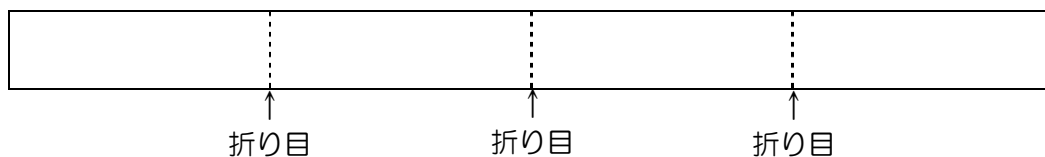
3 デザインのふちに沿って、ダンボールからカ士をカッターで切り取る。



### 3 ダンボールカスを補強しよう！

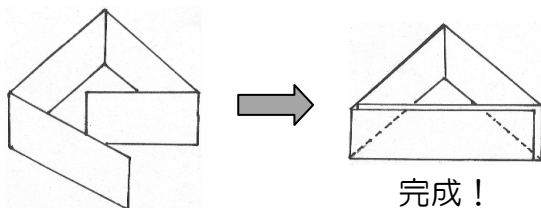
(1) 支給された補強用ダンボールで三角形を2つ作ります。

① 補強用ダンボールに、4等分に線を引く。

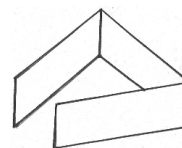


② 線にそって折り曲げて三角形をつくり、ガムテープでとめる。

【注意】 3等分にして、大きな三角形を作らないこと。



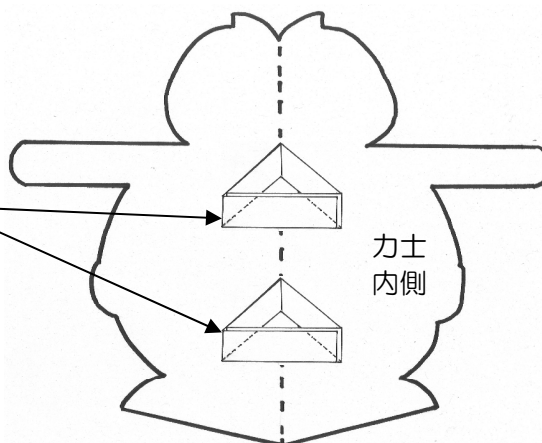
失格例：3等分の三角形



③ 作った三角形をカスの内側に、ガムテープ等で2箇所固定します。

【注意】 かかとの一番下に付けると、カスからはみ出してしまうので注意しましょう。

補強は「腕」や「腰」の位置を目安に固定してください。



**完成！ 優勝目指してがんばろう！！**